

学んで、聞いて、交流して、元気もらった！

9月10日(土) 11日(日) 1泊2日

「三行の希い」の想いをうけ、エネルギー

問題を考える岩内ツアーに39名参加

碑の建立者 窪島誠一郎氏も札幌から同行！



「三行の希い」碑の前で



発行
北海道平和婦人会
札幌市中央区
北3条西7丁目
道庁別館 2F
電話 011-241-0956

第4号
2016年9月28日



お話する窪島
誠一郎氏

九月十日(土) 十一日(日) 一

泊二日で『三行の希い』の想いを
受け、エネルギー問題を考える岩
内ツアー」に札幌窪島会協力、婦
人民主クラブ創立七〇周年の取
り組みとして、男性二人を含め三
十九名が参加しました。

朝九時に札幌駅鐘の広場に集
合。窪島誠一郎氏も札幌からバス
に同乗し、挨拶でユーモアのある
お話がお人柄を感じさせました。
最初の見学地は、原子力PRセ
ンター「とまりん館」。二班に分か
れ職員から原子力発電の仕組み
などの説明を受けました。

ランチタイムは、共和町の丘の
上にある素敵な建物、ティールム
「ケンブリッジ」で、チーズケー
キと紅茶を味わいながら「きのこ
王国」から持ち込んだきのこづく
しのお弁当に舌鼓。

オーナーの西村さんは、共和町
の画家西村計雄さんの親戚。お姉
さんご夫婦と一緒にチーズ工房
を営んでいます。

姉の小林さんは地元で「後志・原
発とエネルギーを考える会」代表の
一人として活動をしています。工房
から岩内原発が見えます。

木田金次郎美術館。有島武郎の
「生まれ生ずる悩み」のモデルとな
ったのが金次郎。岩内で漁師をしな
がら多くの絵画を生み出します。昭
和二九年岩内大火(市街地の八割を
消失)によりそれまでの作品を失う
もその後精力的に絵を描く。

力強いタッチで描かれた岩内周
辺の自然、海や山、リングやバラの
花など。今回は「肖像」の特別展示
でした。

「三行の希い」の碑、窪島誠一郎
講演会

やや急な上り坂を上り切ると碑
にたどりつきます。窪島氏からなぜ
この地に碑を建立したかなど建立
の苦勞が語られました。全員で記念
撮影し、旅館にて記念講演。岩内周
辺からも窪島氏の講演を聞きたい
と、6名の方が参加しました。

窪島氏は、昨年の十二月地元長野

での決起集会の記者会見中、急に激
しい頭痛に襲われた。救急車で病院
に運ばれ、発症から28分後に緊急
に開頭手術。くも膜下出血でした。
早い対応で、命が与えられた。医者
から手術は五分五分と言われた家
族は、東京から長野に来る道中、葬
儀をどうするかと話し合っていた
と。

今はロスタイム。自分は何ができる
のだろう。その思いが強くなってい
た。

無言館ができて二十年経った。絶
望と希望がせめぎ合っているのが
無言館である。人間が生きるって何
だろうと考えさせてくれる。

ユーモア交えてのお話、深いお話
でした。

第63回北海道平和婦人会総会

日時 十二月十日(土曜日)

午後一時30分から

会場 かでる2・7 510室

記念講演

「戦前の北海道の女性たちのた
たかいと安保法制」

宮田汎氏(国賠同盟道本部会長)

たくさんの方の参加をお待ちしています

「おかえりなさい」での夕食交流会。

細川会長の挨拶に続き、「三行の希い」の碑建立の事務局次長大石岩内町議からのお話。美味しいトマトの差し入れありがとうございました。腹話術のパフォーマンスなどで交流し、楽しい時間を過ごしました。美味しい地元のアワビのバター焼きや刺身など、お腹いっぱいになり至福のひと時でした。



窪島さんと木田金次郎美術館前で

二日目。寿都風力発電 町の職員・幸坂町議からの説明と見学。

1989年に寿都町立で初めての風力発電を建設。人口3100人の8000世帯分の発電量で北電に売却し、売電益を町民に還元している。診療所を運営し、三年前から水道料を一世帯年間12000円値引きしたが、現在は地域商品券を配

布している。自治体では全国初の取り組みで全国から視察に来る。幸坂町議の「原発はなくてもやってゆける」の言葉に納得。力強かった。



熱心に説明を聞く参加者

余市教育福祉村

「三行の碑」建立に事務局長で奮闘した菊地大さんが理事長をしている農場。大きなダリアの花がみごとに咲いています。4・6ヘクタールの農地。農業体験ができ宿泊の施設もあります。

採れたてのリンゴ、洋ナシ、プルーンやハーブティなど格安に提供していただきました。そしてブルーベリーの無料摘み採り。大鍋でゆでた「きたあかり」。美味しかったです。優しい心遣い、おもてなしに心もほっこりしました。

寄せられた感想

とまりん館

*係りの説明をききながら、福島で破綻した安全神話の衣装替えをして、新しい安全神話の広報の活動が始まっているのを感じた。今度は騙されない。

*原発には、とても大きな経費が必要。必要な事がわかり、反対の思いが強まりました。

テイルームケンブリッジ

*チーズ美味でした。紅葉の時期にまた訪れたい。騒々しくてスピーチを落ち着いて聞けなかったのは残念でした。オーナーが画家の西村計雄のお身内と聞いてビックリです。
*すばらしい眺めの所でおいしいチーズケーキと紅茶を幸せな気分でした。
*小林さんの原発との対峙の姿勢を応援いたします。

*せっかくのケンブリッジでのんびりしたかった。あわただしかった。お弁当を車内で食べるのもよかった。一度に弁当とチーズケーキはボリュームありすぎ。

木田金次郎美術館

*岩内出身の画家がこんな素晴らしい所にいたとはとても嬉しい。

*木田金次郎の絵は大好きで、絵葉書等大切に持っていました。今回、肖像画や大橋鎮子さんからの寄贈のバラの絵等見ごたえありました。

「三行の希い」と窪島氏講演会

*とてもユーモアがあり、ステキな人ですね。長野の無言館にはぜひ行きたいです。

*碑の事、窪島会などはじめて知りました。

*とても面白い方でした。今まで折に触れて伝記・エッセイを読んでいた。ますので親しみをもちました。

*あんなにお話の上手な方とは思わなかった。少しやわらかいところがよい。

*碑に朝も行き、なる程と。講演会も良かった。本買いました。

*くも膜下出血から再生した窪島さんのあらたな視点での話、興味深く聞きました。

*三行に示された言葉、それを碑にして原発の見える丘に建てられたことは意義深いと思います。窪島さんの講演味深いものでした。

*なんといってもメインイベント

でした。よかったです。くも膜下出血のエピソード。あんまり知識もないまま、ただ8月1日に無言館に初めて行って、しかし、館主の姿もみなかったで、今回行ってみようと思つての参加でした。窪島さんの面白い話をこもこもきいて、かけがえない体験になったと思います。

*多くの想いによつて出来た碑にふれたことが、夢のようです。先生の楽しく心に浸みるお話に琴線がゆれました。

寿都風力発電

*ていねいな説明がよかった。もつと普及すればよい。

*今回の目玉は窪島講演会だと思つていたので、全く期待していなかったが、期待以上だった。風車の存在感、迫力に圧倒されました。「再生可能エネルギーだけでは電力を維持できない」との説明には重いものがありました。でもそれは、不可能という意味ではありません。私はそう理解しました。

*町としてやっているのは全国でもまれということで大変よかったです。町の職員の方の説明、質疑応答にもていねいにこたえてくれて、

その後の幸坂議員の補足もやはり政治をかえなくてはということが明確になりました。

*寿都が風力発電の町ということ初めて知り、その効果や課題など勉強になりましたが、国の自然エネルギーへの転換こそ求められます。
*原発の泊、風力の寿都。対照的な二つの町の見学、とても有意義でした。



真つ青な海を背景に弁慶岬で町の職員・幸坂町議と一緒に

余市教育福祉村

*全く予備知識なかったが、今回の旅で一番印象に残った。87歳で生き生きと地域で活躍して、とじこもりの方々などの自立支援に力を発揮されていて、自分達もできることから、身近なことから頑張りたいという思いでいっぱいになった。
*おいしいじゃがいも、ブルーベリー

ー無料など、ご親切なおもてなしありがとうございました。

*秋の収穫、ごちそうになりました。滞在一時間余。時間を持て余すと思つていたらむしろ逆。64にして生まれて初めてのブルーベリー摘み取り。ブルガリヤの農夫になったように楽しかったです。

*福祉村では、想定外のブルーベリー狩りができて良いお土産ができました。お元気な菊地先生にもお会い出来ましたし、感謝です！

*ブルーベリー摘みを久しぶりに楽しめました。安い値段で新鮮なトマトなど買え、じゃが芋のおもてなしに感動です。

*教育福祉村へここへの泊りがけの学習会とお手伝いツアーもありかなと強く思った。心のこもった歓迎に感謝。



挨拶する菊地氏

その他・全体を通じて

*参加のみなさんが年上の方が多いのに、元気で活躍されているのには感心しました。

*一般の観光ツアーとは違い、地域で頑張っている方々との交流など、学ぶ点がたくさんあり、有意義な旅行でした。個人的には体力的に今回が最後のツアー旅行と決意して参加しましたが、実り多い旅となりました。いろいろお気遣いいただきありがとうございました。

*楽しい青木さんの名ガイドでいい旅でした。ありがとうございました。

岩内ツアーに参加して

婦人民主クラブ札幌支部

岡本美恵子

今年婦人民主クラブは創立70周年を迎えました。支部では北海道文学散歩を20年続け、その後も日帰り旅行を実施してきましたので70周年を記念に旅行の実施をしたいと思います。そんな時「北海道平和婦人会」主催の今回のツアーを知り、婦人民主クラブ札幌支部も、協賛という形で

参加させていただくことになりました。

参加総数は39名、婦人民主クラブからは10名、そのほかにも「婦民新聞」の読者も多数いました。

旅の第一の目的は、昨年、岩内の小高い丘に「無言館」館長窪島誠一郎氏が建立した「三行の希い」の碑を見学することでした。

朝、札幌駅の集合場所では遠足に行く時の小学生のように、うれしい気持ちでそわそわした雰囲気のおばさま達が早々と集まっていました。札幌からのバスに乗り込んだとき、すでに車内には、今回の「三行の希い」の碑見学と講演をしていただく窪島氏が乗っておられたことに驚き！そして碑の前での説明、その後旅館に入ってから講演と食事、翌朝は旅館の前でお別れと、窪島氏ともに内容の濃いひと時を過ごすことができました。今回、日本人離れした風貌と青年のような情熱をお持ちの窪島氏のファンになった方も多かったのでは？

一日目、共和町のチーズ工房「クレイル」併設の「ケンブリッ

ジ」でテイタイム、原発に反対する経営者と交流しました。説明をしてくださった小林さんと西村さんは婦民の会員・読者でもあり、私たちの仲間が地域に根差し原発反対運動の先頭に立っていられるのを知り、励まされました。

二日目、寿都で風力発電を見学してその仕組みを学びました。

婦民札幌支部では過去に「飢餓海峡の舞台を巡るツアー」を実施し、エネルギー問題では「泊原発の見学」「これからのエネルギーを考える」「チエルノブイリレポートを聞く」などの学習を続けてきました。今回の旅は、今までの集大成のような内容でした。これから、生活に根差した活動が続けていきたいと思います。



「核」を
絵筆で塗りつぶせ
ペンで書きあらた
めよ

水上勉
窪島誠一郎

長編ドキュメンタリー映画

「二十歳の無言館」上映会

★10月30日(日)

上映 14時

★トークショー 15時40分

窪島誠一郎氏×森内康博監督

★札幌りんゆうホール(北9東2)

前売券1500円

当日券2000円

主催…礎の会 共催…札幌窪島会

協力…北海道平和婦人会

★チケット取り扱い中。希望者は平和婦人会まで★

★窪島誠一郎さんに会えますよ。

★無言館は今年で20年です。

チケットあずかっています

劇団希望舞台 焼酎師から

孤児たちは焼け跡で復員兵の和尚

さんに出会った

西村滋 作「それぞれの富士」より

★十月二十一日(金)

★13時30分開場 14時開演

★札幌ちえりあホール

★一般前売 3000円

今後の日程

◆STOP再稼働！さようなら原発北海道集会

十月八日(土)十三時

大通公園西8丁目広場

主催…さよなら原発1000万人

アクション北海道実行委員会

◆十月九日(日)午後一時

教育文化会館4階講堂

講演会 「核兵器のない世界への

新たな展望と課題」資料代五〇〇円

川田忠明氏(日本平和委員会常任理事)

◆はたらく女性の全道集会

十月二十七日(木)午後六時

エルプラザ3階ホール

記念講演「風下の村は今も隠され

たフクシマの真実」一般一〇〇〇円

森住卓さん(フォトジャーナリスト)

◆全道基地問題交流集会in旭川

十月二十九日(土)午後一時30

旭川障害者福祉センター

講演「経済的徴兵制と北海道の自

衛隊」資料代五〇〇円

布施祐仁さん(ジャーナリスト)

♥ありがとうございます♥

日本航空へのメッセージカード、

婦団連に届けました。